

## 「家政哲学」とその周辺(その1)

### 関口富左著『家政哲学』とオットー・フリードリヒ・ボルノウ

書名1	著者名1	出版者	出版年月日	請求記号
家政哲学	関口, 富左(1913-)	家政教育社	1978/02	590  Se  増2
A philosophy of home economics : Establishing home economics as a discipline for human protection	Sekiguchi Fusa, editor	Koriyama women's university press	2004/07	590/S
人間守護の家政学：福祉社会の実現をめざして	関口富左編著者代表	家政教育社	1999/09	590/Se
よくみるよくきくよく考えて：知は感性の庭にさく	関口, 富左(1913-)	社会評論社(発売元)	2003/10	377.28/Se
学園報「開成の杜」巻頭言集	関口, 富左(1913-)	郡山開成学園	2007/07	377.28  Se
人間と空間	Bollnow, Otto Friedrich, 1903-1991	せりか書房	1978/03	134.9  Bo
人間学的に見た教育学	ボルノー著；浜田正秀訳	玉川大学出版部	1973	371.234/Bo
教育学における人間学的見方	O.F.ボルノー著；岡本英明訳	玉川大学出版部	1977/02	371.234/Bo
Anthropologische Paedagogik	Otto Friedrich Bollnow	Tamagawa University Press	1973	371.234/B
Zwischen Philosophie und Paedagogik : Vortraege und Aufsaeetze	Otto Friedrich Bollnow	Norbert Friedrich Weitz	1988	371.234/B
倫理学・教育学論集	Dilthey, Wilhelm, 1833-1911	法政大学出版局	2008/12	134.9  Di  1-6
Paedagogik: Geschichte und Grundlinien des Systems	Dilthey, Wilhelm, 1833-1911	B.G. Teubner Vandenhoeck & Ruprecht	1986	134.9  D  1-9
人間学の探究	アルノルト・ゲーレン [著], 亀井裕, 滝浦静雄ほか訳	紀伊國屋書店	1970/05	114/33
人間：その本性および世界における位置	アルノルト・ゲーレン 著；平野具男訳	法政大学出版局	1985/11	114/Ge
現代の精神的状況	カール・ヤスパース [著]；飯島宗享訳	理想社	1971/08	134/46/28

## 「家政哲学」とその周辺(その2) サン＝テグジュペリ『星の王子さま』

書名1	著者名1	出版者	出版年月日	請求記号
星の王子さま	サン＝テグジュペリ作；内藤濯訳	岩波書店	1972/09	953.7/Sa
星の王子さま	Saint-Exupéry, Antoine de, 1900-1944	論創社	2005/06	953.7  Sa
小さな王子さま	アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ [著]	みすず書房	2005/08	953.7  Sa
星の王子さま	アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ 作	宝島社	2005/07	953.7  Sa
星の王子さま	サンテグジュペリ著	中央公論新社	2005/06	953.7  Sa
星の王子さま	サンテグジュペリ著	集英社	2005/08	953.7  Sa
星の王子さま	Saint-Exupéry, Antoine de, 1900-1944	平凡社	2006/01	953.7  Sa

4月22日は学校法人郡山開成学園の創立記念日です。

創立記念日にあわせて、大学図書館では郡山開成学園の創立者である故・関口富左名誉学園長先生(1913-2013)が創始した「家政哲学」に関する書籍の展示を実施します。「家政哲学」は関口富左先生がドイツの教育哲学者オットー・フリードリヒ・ボルノウ(1903-1991)の説いた「哲学的人間学」をよりどころとする「人間守護」の考え方にに基づき、家政学に哲学的な発想を導き入れたものとして高く評価されています。

今回は「家政哲学」を確立した『家政哲学』およびその英訳、『人間守護の家政学』に加えてボルノウ、ボルノウの大師匠であったウィルヘルム・ディルタイ(1833-1911)、ボルノウとともに関口富左先生が参考にしたアーノルト・ゲーレン(1904-1976)の著書を展示します。

また、関口富左先生が生前好み「家政哲学」でも『城塞』が参照されたアントワーヌ・サン＝テグジュペリ(1900-1944)の代表作『星の王子さま』は2005年で翻訳権が満了となり、それまでの内藤濯訳(岩波書店)に加えて新しい翻訳がいくつも出版されました。図書館で所蔵している新旧の訳本を「家政哲学」に併せて展示いたします。